

## 令和6年度 指定管理者年度評価シート

### 1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市美術館	千葉市民ギャラリー・いなげ
条例上の設置目的	千葉市美術館条例（平成7年千葉市条例第34号）（抄） 第1条 本市は、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、次のとおり千葉市美術館を設置する。	千葉市民ギャラリー・いなげ設置管理条例（昭和63年千葉市条例第40号）（抄） 第1条 本市は、市民の美術作品の発表及び鑑賞並びに制作のための施設として、次のとおり市民ギャラリーを設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	本市における美術振興の核となる施設として、博物館法（昭和26年法律第285号）に規定する美術館の役割・機能を着実に果たすとともに、文化面から千葉都心の集客を図り、市民サービスの向上に寄与する。	市民に身近な芸術活動の拠点として、幅広い世代の人々が親しく美術に触れ合う場となるとともに、歴史的建造物の保存・活用を推進する。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と密接に結びついた市民参加型の美術館であること。</li> <li>・生涯学習の機能を兼ね備えた美術館であること。</li> <li>・首都圏の中で埋没することのない個性を備えた魅力ある美術館であること。</li> <li>・市民の文化・芸術の拠点として市の発展とともに成長する美術館であること。</li> <li>・現代から未来を志向し、国際的視野から市民の美意識を育てる質の高い美術館であること。</li> <li>・体験等を中心とした事業を実施し、美術に関する市民の創作活動等を支援すること。</li> </ul>	<p>【市民に身近な芸術活動の拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術作品の展示・制作の場</li> <li>・美術作品の制作指導等の実施</li> <li>・歴史的建造物の管理及び公開等による活用</li> </ul>
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、指定管理者が、市の求めるビジョン・ミッションや施設の特性を踏まえつつ、専門性や企画力などのノウハウを活用しながら、開館時間の延長、参加・体験型事業の充実、多言語化対応などの具体的な取組みを進めることにより、多くの市民が、各施設において、文化芸術を鑑賞、体験し、創造活動につなげることができるような環境が構築され、市民サービスが向上することを期待する。	
成果指標※	① 展覧会（常設展を含む）入場者数 ② 施設稼働率 ③ 体験・参加型事業の利用者数	① 利用者数（市民ギャラリー・いなげ） ② 利用者数（旧神谷伝兵衛稲毛別荘） ③ 施設稼働率
数値目標※	① 200,000人以上 ② 48%以上 ③ 15,000人以上	① 34,000人以上 ② 11,500人以上 ③ 55%以上
所管課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

## 2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団	
構成団体 (共同事業体の場合)		
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉県千葉市中央区弁天3丁目7番7号	
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年)	
選定方法	非公募	
非公募理由	美術館の拡張整備(リニューアル)を契機とした新たな事業展開において、市との連携を図りながら、市民サービスの充実や質的な向上が求められる中、展覧会の実施や美術品の収集など事業実施までに中長期的な期間を要することが多く、十分な研究成果や豊富な経験に裏付けされた専門的知見を有する職員が継続的に携わる必要があることなど美術館としての施設特性を踏まえ、同一団体が継続して担うほうが、施設の管理は合理的かつ効果的であるため。	展覧会の企画や講習会の実施等に当たり美術品の展示に関する専門性を要するとともに、隣接する国登録有形文化財(旧神谷伝兵衛稲毛別荘)の管理に係る経験等も要求されるものであるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入	

## 3 管理運営の成果・実績

### (1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

#### ア 千葉市美術館

成果指標	数値目標※	R6年度実績	達成率
展覧会(常設展を含む)入場者数	200,000人以上	167,916人	83.96%
施設稼働率	48%以上	43.7%	91.0%
体験・参加型事業の利用者数	17,000人 (15,000人以上)	27,204人	160.0% (181.4%)

※数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

#### イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

成果指標	数値目標※	R6年度実績	達成率
利用者数 (市民ギャラリー・いなげ)	34,000人以上	17,030人	50.1%
利用者数 (旧神谷伝兵衛稲毛別荘)	11,500人以上	7,466人	64.9%
施設稼働率	55%以上	44.7%	81.3%

※数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

### (2) その他利用状況を示す指標

指 標	R5年度実績
※設定なし	

#### 4 収支状況

##### (1) 必須業務収支状況

###### ア 収入

費 目		R 6 年度	【参考】 R 5 年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	558,188	555,925	実績－計画	0	
	計画	558,188	555,925	計画－提案	28,120	光熱費の高騰による
	提案	530,068	528,311			
利用料金収入	実績	58,903	63,260	実績－計画	△ 36,733	観覧料収入の減
	計画	95,636	85,911	計画－提案	4,292	計画と提案の差による
	提案	91,344	85,247			
その他収入	実績	12,395	21,472	実績－計画	△ 7,710	ミュージアムショップの売り上げ減
	計画	20,105	25,955	計画－提案	△ 500	
	提案	20,605	26,405			
合計	実績	629,486	640,657	実績－計画	△ 44,443	
	計画	673,929	667,791	計画－提案	31,912	
	提案	642,017	639,963			

###### イ 支出

費 目		R 6 年度	【参考】 R 5 年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	174,628	164,262	実績－計画	3,982	時間外手当の不足による
	計画	170,646	164,922	計画－提案	1,159	人員構成の差による
	提案	169,487	167,374			
事務費	実績	110,724	129,516	実績－計画	△ 10,326	契約差金
	計画	121,050	111,554	計画－提案	31,667	光熱水費の高騰
	提案	89,383	89,367			
管理費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
委託費	実績	168,801	166,335	実績－計画	△ 5,212	清掃業務等の仕様の見直し
	計画	174,013	171,460	計画－提案	△ 14,435	管理委託費の見直し
	提案	188,448	188,455			
その他事業費	実績	185,095	199,935	実績－計画	△ 12,691	諸謝金、消耗品費、広告宣伝費等の実績と計画の差
	計画	197,786	208,014	計画－提案	14,152	展覧会事業費（監視員代金）等の増
	提案	183,634	183,613			
間接費	実績	11,442	10,842	実績－計画	1,008	給与（職員手当）の増
	計画	10,434	11,841	計画－提案	△ 631	人員構成の差による
	提案	11,065	11,154			
合計	実績	650,690	670,890	実績－計画	△ 23,239	
	計画	673,929	667,791	計画－提案	31,912	
	提案	642,017	639,963			

間接費の配賦基準・算定根拠

公益法人会計基準に則り6つに区分し、本部経費については、従事割合等の配賦基準により各会計に配賦計上。法人会計に配賦した費用から基本財産、特定資産の運用益等の収益を差し引いた差額を、法人会計以外の5つの会計へ配賦した額の割合で按分し、法人会計の財源として一般管理費に計上する。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		R 6 年度	【参考】 R 5 年度
自主事業収入	実績	12,657	4,295
その他収入	実績	0	0
合計	実績	12,657	4,295

イ 支出

(単位：千円)

費 目		R 6 年度	【参考】 R 5 年度
人件費	実績	680	763
事務費	実績	614	114
管理費	実績	0	0
委託費	実績	5,987	1,619
使用料	実績	0	0
事業費	実績	969	1,324
利用料金	実績	615	42
その他事業費	実績	0	0
間接費	実績	122	39
合計	実績	8,987	3,901

間接費の配賦基準・算定根拠

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R 6 年度	【参考】 R 5 年度
必須業務	収入合計	629,486	640,657
	支出合計	650,690	670,890
	収 支	△ 21,204	△ 30,233
自主事業	収入合計	12,657	4,295
	支出合計	8,987	3,901
	収 支	3,670	394
総収入		642,143	644,952
総支出		659,677	674,791
収 支		△ 17,534	△ 29,839
利益の還元額		0	0
利益還元の内容		—	—

## 5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

ア 千葉市美術館

評価項目	市の評価	特記事項
展覧会入場者数	D	
施設稼働率	C	
体験・参加型事業の利用者数	A	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

評価項目	市の評価	特記事項
利用者数（市民ギャラリー・いなげ）	E	
利用者数（旧神谷伝兵衛稲毛別荘）	D	
施設稼働率	D	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。  
A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）  
B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）  
C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満  
D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満  
E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	提案額：530,068千円、実績額558,188千円

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。  
A：選定時の提案額から10%以上の削減  
B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減  
C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減  
（D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）  
－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
<b>1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理</b>				
	市民の平等利用の確保	C	C	
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
<b>2 施設管理能力</b>				
	<b>(1) 人的組織体制の充実</b>			
	管理運営の執行体制	C	C	
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
	<b>(2) 施設の維持管理業務</b>			
	施設の保守管理	C	C	
	設備・備品の管理・清掃・警備等			
<b>3 施設の効用の発揮</b>				
	<b>(1) 幅広い施設利用の確保</b>			
	開館時間・休館日	C	B	生涯学習センターや幼稚園での出張ワークショップ、公民館との共催事業、その成果作品をギャラリーや別荘にて展示する等、地域連携やアウトリーチを積極的に行うとともに、そこから来館者増へとつながるような取り組みを行っている。
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
	<b>(2) 利用者サービスの充実</b>			
	利用者への支援	C	C	
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
	<b>(3) 施設における事業の実施</b>			
	施設の事業の効果的な実施	C	C	
	自主事業の効果的な実施			
<b>4 その他</b>				
	市内業者の育成	C	C	
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。  
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。  
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。  
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。  
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
(ア) 駐車場が満車の際の案内・誘導について適切に行われたい。	令和6年度	<b>【美術館】</b> 駐車場が満車の際は、入口に「満車」の表示を視認性の高い場所に設置している。駐車場にはスタッフが常駐しており、満車時には丁寧にお客様へ状況を説明し、状況に応じて近隣のコインパーキングの案内を行っている。 <b>【Gいなげ】</b> 受付で駐車場使用者の記帳に基づき利用状況を把握し、混雑時には空きスペースへの誘導を心掛けている。また、混雑を未然に防ぐため団体利用者等の来館日時の調整を図っている。
(イ) 高校との連携について検討されたい。	令和6年度	<b>【美術館】</b> 「ふれあい会議」の議題にとりあげ、近隣高校校長を招聘して意見交換をした。春休み期間に高校生を主な対象とする「ちばしびオープンミュージアム」を開催した。 <b>【Gいなげ】</b> 千葉県内の美術課のある高校の教員を講師とする講座を主催する中で、連携についての意見交換を行い情報を収集している。
(ウ) 有料・無料の入場者について、分析し、そのバランスを適切に検討されたい。	令和6年度	<b>【美術館】</b> 企画展の分野により年齢層などで比率が異なる。友の会会員も無料入場者とカウントしているためその比率が多い。他に無料入場者が多いのは、障害者とその引率者。招待券については企画展の関係者・出品者などが多い場合は増える。また、同時開催の企画展（関連展示）は共通料金となっているため無料が多くなる。

## 6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

ア 千葉市美術館

実施内容	調査方法	展覧会の会場にアンケート用紙・ボックスを設置し、来場者の意見等を収集した。 （このほかに、イベントごとに終了時に用紙を配布し、意見の収集をした。施設利用者へは、利用後の報告用紙に意見等を記入してもらっている。受付などで受けた意見については日報に記録し、集約している。）
	回答者数	989件
	質問項目	年齢、性別、住所、交通手段、展覧会を知った媒体、来館回数、展覧会の感想、その他本施設に対する意見
結果	ア 回答者の属性： 年齢（10歳未満 4%、10代 4%、20代 7%、30代 4%、40代 11%、50代 21%、60代 26%、70代 20%、80歳以上 2%、無回答 1%） 性別（男性 43%、女性 56%、その他 0%、回答しない 1%） 住所（市内 31%、県内 30%、関東10%、都内 22%、その他 5%、無回答 2%）  イ 交通手段： J R千葉駅より徒歩 23%、J R千葉駅よりバス 4%、J R千葉駅よりタクシー 4%、京成千葉中央駅 11%、モノレール 10%、自家用車 20%、自転車 3%、その他 10%、無回答 15%  ウ 展覧会を知った媒体（複数回答）： 新聞 15%、雑誌・ミニコミ 2%、テレビ・ラジオ 8%、チラシ 18%、ポスター 9%、市政だより 2%、知り合いから 6%、友の会・美術館ニュース 3%、千葉市美術館ホームページ 18%、その他インターネットサイト 5%、館に来て 6%、千葉市美術館SNS 3%、その他 5%  エ 来館回数： はじめて 34%、2～3回 16%、4～5回 8%、6回以上 41%、無回答 1%  オ 感想： 大変よかった・期待以上 72%、よかった・期待どおり 22%、普通 4%、あまりよくなかった 1%、よくなかった・期待はずれ 0%、無回答 1%	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

実施内容	調査方法	ギャラリー棟・別荘にアンケート用紙と回収箱、ギャラリー棟に意見箱を用意し、来館者の意見を収集した。
	回答者数	1,071件
	質問項目	来館日、性別、年齢、住所、利用施設、申込・受付方法、施設の管理・清掃、受付・窓口の対応、気づいた点
結果	<p>ア 回答者の属性：</p> <p>年齢（10代 4.9%、20代 10.0%、30代 7.8%、40代 12.1%、50代 25.5%、60代 17.9%、70代 17.2%、80代以上 4.6%）</p> <p>性別（男性 37.5% 女性 62.3% 回答無し0.1%）</p> <p>住所（中央区 5.8%、花見川区 6.2%、稲毛区 16.4%、若葉区 1.7%、緑区 4.1%、美浜区 15.2%、県内他市27.2%、県外その他23.4%）</p> <p>イ 利用施設：</p> <p>ギャラリー棟 39.8%、別荘 60.2%</p> <p>ウ 申込・受付方法：</p> <p>今のままでよい 99.2%、改善してほしい 0.8%</p> <p>エ 清掃状況</p> <p>ギャラリー棟（良い 93.5%、普通 6.5%、良くない 0.0%）</p> <p>別荘（良い 98.7%、普通 1.2%、良くない 0.1%）</p> <p>オ 窓口・受付対応</p> <p>ギャラリー棟（良い 94.7%、普通 5.3%、良くない 0%）</p> <p>別荘（良い 98.1%、普通 1.9%、良くない 0%）</p>	

（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

ア 千葉市美術館

主な意見・苦情	指定管理者の対応
展示はとてもよかったが、写真を撮っている人が多く（子ども連れで記念写真等も）作品の前を横切ったり、近くに立つことができず動線が制限されて十分には楽しめなかった。写真をとりたい気持ちわからなくもないが、他の鑑賞者の妨げになるため、撮影は制限（または禁止）して欲しい。	展示室内での写真撮影を求める声が多くなっていることは認識しているものの、実施した際の意見は多様であり、企画展の分野・来館者の年齢層によっても評価は異なるほか、企画展の出品者所蔵者の意向もある。可能な限り希望に応えられるようにする一方、来館者同士のトラブルに発展することを防止するため、企画展ごとに対応を変えており、一部の作品や展示室のみ撮影可能とするなどの対応を行っている。
講堂でWi-Fi（無線LAN）を使えるようにして欲しい。	貸出施設利用者専用のモバイルWi-Fi（ポケット型Wi-Fi）1台を導入した。施設の利便性強化による利用者満足度の向上・リピーターの増加を目的として無料貸出しを開始した。

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

主な意見・苦情	指定管理者の対応
駅から施設までの道順がわかりにくい。	ホームページの中で京成稲毛駅からギャラリーまでの道案内動画を提供して視覚で確認できるわかりやすい案内を行った。紙媒体では年間予定表を兼ねた「いなげ八景散策マップ」に公共交通機関（バス）の情報を掲載し、観光案内施設、民間商業施設等に配布した。
バリアフリー（段差）に対応してほしい。	施設の立地する地形による制約のため、施設内物品の配置換えを行い、比較的段差の少ない施設裏側駐車スペースからの導線を確保した。



## 7 総括

### (1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	<p><b>【美術館】</b> 令和6年度は11本の企画展を開催、巡回展を含めいずれも千葉市美術館学芸員が主導して行った意欲的な自主企画展であった。本数が多いのは、春休み期間を企画展やつくりかけラボの会期に取り込みたいことから、例年と異なり年度末に開幕した展覧会があったためである。アンケートでは90%の観覧者が「大変よかった」「よかった」との感想を示している。特に企画展の観覧者数が、市民展を除き、すべて1万人以上を数えたことは画期的であった。必ずしも知名度が高くはない作家であっても、個性的で充実した展示内容の良さが評判として広がり、会期中や、次回以降の展示の来館も促すという好循環が見られた。その結果、常設展と併せて、展覧会の観覧者数総計は、167,916人と、昨年度に次ぐ開館以来歴代4位となった。「岡本秋暉」「摘水軒コレクション名品展」の会期中に、開館以来展覧会入場者数350万人を達成し、記念のセレモニーを行っている。教育普及事業の利用者数、貸出施設の利用者その他をあわせた年間美術館利用者人数総計は318,201人で、こちらも昨年度に次ぐ歴代2位であった。</p> <p>企画展では「板倉鼎・須美子」展や、「岡本秋暉」展「摘水軒コレクション名品展」が、美術館のコレクションを核とし、収集方針に基づいた専門分野を生かした内容で、定評を高めた。一方で、「Nerhol 水平線を捲る」展のように若手作家の初的美術館における個展というチャレンジもしたが、高い評価を得る内容となり成功を収めた。さや堂ホールを生かしたインスタレーションも好評で、場所の価値や知名度も上げることができた。「キャビンカンパニー大絵本美術展」もこれまで開催を続け実績を積んできたブラチスラヴァ絵本原画展から生まれた成果といえる。「つくりかけラボ」とあわせ、作家の滞在が好評であり、それに伴う交流など活動の広がりや、参加者人数の指標だけでなく、美術館という場が多様な役割を果たし得るという、存在意義を示した。</p> <p>全体として、光熱費のほか事業人件費や資材等の物価高、円安や運賃高の影響が益々大きくなっており、建物の修繕等も増え、事業費の中に含まれる固定的経費の割合が増加している。実質かけられる費用が減るなか、自前の企画を行ってきたノウハウを生かして効率的に、事業企画の質と安全性、信頼を落とさぬよう推進した。広報費などの支出を大幅削減せざるを得なかったが、市や関係機関との連携につとめた。展覧会ごとに助成金や協賛金を得ることができ（摘水軒展やキャビン展）、専門性や実績を生かした企画協力（他館における田中一村展や深沢幸雄展）などで誘客や収入も得、予算不足を補っている。美術館に求められる機能が拡大し続けるなか、収支状況は今後課題はあるが、拡張リオープン後5年、指定管理期間の最後の1年として、企画展事業の実績はもとより、展開してきた新しい教育普及事業、コレクションを活用した常設展などの事業に定着の手応えを得た年となった。</p> <p><b>【Gいなげ】</b> 市民が世代やジャンルを超えて美術や文化に親しみ、交流できる「場」を目指し、地域商店街や各教育機関との連携を踏まえた展覧会、講習会及びイベント等を企画・運営し、地域アート・文化の拠点としての事業を展開した。 また、教職員のネットワークと展示作業の技術的ノウハウを活用し、千葉国際芸術祭プレイイベントの開催に協力した。</p>
----------	---	---

(2) 市による評価

総括評価	C	所見	<p>【千葉市美術館】</p> <p>企画展事業においては、写真展・彫刻展・現代美術展・浮世絵展と当初計画どおりに事業を展開しており、来館者アンケートの結果から来館者の満足度も高いことが伺える。令和6年度は特に「Nerhol」展で、若手気鋭のアーティストの初の美術館における個展を開催し、当初からメディアからも注目され報道された。メディアでの報道に加え、さや堂ホールのインスタレーションなど展示のイメージがSNSなどで拡散し、目標人数10,000人のところ、目標を上回る13,733人となった。作家は、本展における成果などで、昨年度、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞するなど、展示の評価が高かったことが伺える。</p> <p>体験・参加型事業においては、「キャビンカンパニー展」関連の鑑賞ツールの利用や「岡本秋暉展」の関連イベントのオープン型ワークショップ、つくりかけラボ15、16とも目標を大きく上回る参加者数があり、目標人数の160.0%を達成し事業が定着してきているところが評価できる。</p> <p>そういった成果が見られた一方で、目標数値に届かなかった展覧会もあり、展覧会入場者数は、昨年度に続き、目標である20万人を下回る結果となった。</p> <p>加えて、全体的な赤字は依然解消されていない状態にあり、来館者数のおよそ半数を占める60代以上中心の客層のみならず、令和6年度の企画展や体験・参加型事業で得た新たな若い世代の客層をリピーターとできるよう、引き続き広報手段や事業実施手法を工夫し、より多くの層を取り入れ収入の確保につなげられたい。</p> <p>【千葉市民ギャラリー・いなげ】</p> <p>展示室や制作室の稼働率は概ね計画どおりの達成率となっており、アンケート結果でも昨年度に引き続き建物・庭園内ともに日常清掃が行き届いているという評価をいただいている。また、利用率の低い第3展示室を個人の展示スペースとして一般貸出しを行い、新たな利用の促進に努めたことは評価できる。</p> <p>一方で、利用者数の月平均値は、旧神谷伝兵衛稲毛別荘も含め、休館のあった昨年度よりも減少している。利用団体の高齢化により団体の人数が少なくなっていること、アンケート結果で施設への道順がわかりにくいとの意見もあることなど、昨年度開始したSNSでアクセス方法の周知することや、新たな利用者獲得出来るような工夫を図り、さらなる集客に努められたい。</p> <p>評価の目安では、総括評価はD評価となるものの、美術館においては体験・参加型事業の人数は目標を大きく上回っており、令和2年度の改修後の取り組みの1つである「美術を体験し、市民の感情を育む美術館」として幅広い年齢層の方に、文化体験を提供していること等、市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。市民ギャラリーいなげにおいては、利用者数と稼働率とも目標値に達しておらず、市が指定管理者に求める水準等に達していないところもあるが、アウトリーチなどで新たな利用者の獲得に努力するなど両施設の管理状況を総合的に評価して、概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていたものと判断し、C評価とした。</p>
------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見